

活動紹介

千葉県森林インストラクター会

活動分野	森に親しむ野外講座 県外第三回		
タイトル	富士山白糸の滝、朝霧高原の田貫湖等を巡る		
実施日時	平成 30 年 9 月 11 日（火）7 時 20 分～19 時 10 分		
実施場所	静岡県富士宮市		
受講者	会員 44名	F I C 会員	6名

活動の内容

今回は富士山の水をテーマにした企画であり、湧水から出現した壮大な白糸の滝、富士山周辺では唯一の低層湿原である小田貫湿原、そして猪ノ頭の湧水群、陣馬の滝を巡る内容である。

当日は天候が心配で若干、スケジュールの変更もあったが、滞りなく無事終了した。

富士山の遺産登録に関してその構成遺産にもなっている白糸の滝のそばに見事なシュウカイドウの群落とそのそばに可愛く首を出しているジイソブの花が壮大な滝と対照的に輝いていた。

展望台周辺ではクサギ、コクサギ、センニンソウなどの香りや2対ずつ付く葉序を観察。

田貫湖までバスで移動して昼食。そこから約 30 分上った地域に低層湿原となっている小田貫湿原がある。約 1.7ヘクタールと小ぶりの湿原地である。この時期、アサマフウロ、イヌゴマ、キセルアザミ、キツネノマゴ、サワギキョウ、ツリフネソウ、オオミソソバ、サワシロギク、コガマなど湿原地に咲く植物を観察できた。

続いてヤマユリの里に通ずる路では五斗目木川の支流の沢の水がオーバーフローしている箇所があり、全員靴を脱いで素足で渡る場面もあり、意外な場面に遭遇して喜んでいた。

途中の山林の路でもキバナアキギリ、白糸の滝で見つけたジイソブが多く咲いているのを発見。

猪ノ頭の集落に入り、遠照寺の境内に流れる「撫で川」のワサビ田を抜けて、最終目的地、陣馬の滝に到着した。お土産はこの湧水である。バナジウムを含み血液がサラサラになるという。

帰りのバスの中での参加者の意見では一番の印象に残ったのはやはり、小田貫湿原、次に白糸の滝であった。何とか雨にあわずに、全員無事で楽しく観察ができた 1 日であった。

